

マイクロファイナンスレポート ～マイクロファイナンス機関(ハスバンク)へのインタビュー～

大和マイクロファイナンス・ファンド(以下、当ファンドと言います。)は2011年3月の設定から5カ月が経過しました。当ファンドは投資対象のDWMマイクロファイナンスファンドJ-クラスJを通じて、2011年7月28日時点で7マイクロファイナンス機関(以下、MFIと言います。)への融資を実行しています。今回、最初の融資先であるモンゴルのMFI「ハスバンク」のCEO、行員そして借り手へのインタビューを実施しました。

1.DWMアセット・マネジメント社 ピーター・ジョンソン氏からのメッセージ



ピーター・ジョンソン氏
(Peter Johnson)

DWMアセット・マネジメント社 パートナー
兼キャピタルマーケット責任者

このたび、当ファンドの社会的インパクトをお伝えする「マイクロファイナンスレポート」を投資家の皆さまにお送りすることができ大変嬉しく思っています。

2011年3月1日に当ファンドの運用が開始されて以来、2011年7月28日時点で、7MFIへの融資を実行しました。この7MFIは弊社が調査・分析をし、優良なMFIと判断したMFIです。一方で、優良なMFIの選定には時間を要するのも事実です。現在も、投資家の皆様の資金がMFIからの融資を必要とする借り手の手助けとなるように、複数のMFIへの融資の交渉を進めております。

また、当ファンドはDWMマイクロファイナンスファンドJ-クラスJを通じて、現地通貨建ての国際機関債およびMFIへの直接的な融資等を通じて、MFIを資金面からサポートしており、現地通貨建ての融資を望んでいるMFIや最終的な借り手から大変期待されています。その理由として、現地通貨建ての融資に応えられるファンドは世界的に見てもほとんどなかったためです。私自身、このようなファンドの運用に携われることができたことを大変嬉しく思っています。

今回、DWMマイクロファイナンスファンドJ-クラスJが最初に組み入れたモンゴルのMFI「ハスバンク」のCEO、行員そして顧客である個人・零細事業主へのインタビューを行いましたので、日本の皆様にお伝えします。

当ファンドが投資家の皆様のインパクト・インベストメント実践の一助になれば幸いです。

2.設定からの振り返り(MFIの組み入れ状況およびマイクロファイナンス市場)

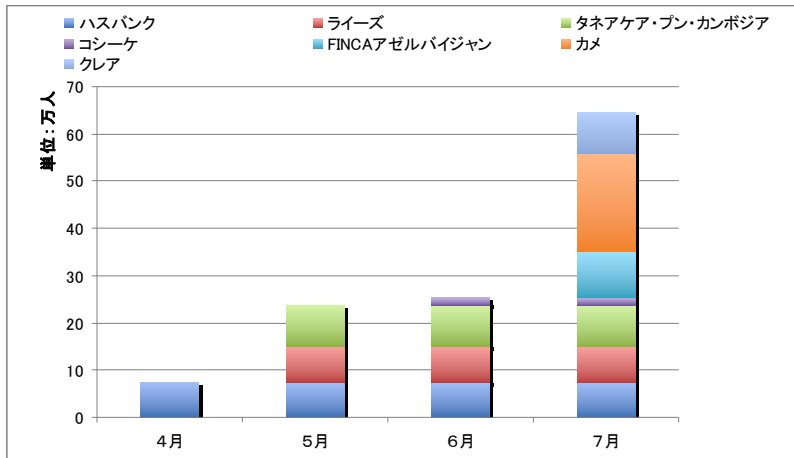
	DWMマイクロファイナンスファンドJ-クラスJ (MFIの組み入れ状況)	マイクロファイナンス市場
3月	1日に設定(運用開始)。当初は国際機関債を中心に組み入れを実施。MFIへの融資はなし。	バングラデシュ: グラミン銀行がムハマド・ユヌス総裁を高齢を理由に解任。
4月	27日、モンゴルのMFI「ハスバンク」へ約300万米ドル相当の投資を実施(6月には400万米ドル相当を追加融資し、総額700万米ドル相当を融資)。初のMFIの組み入れ。	
5月	18日、ペルーのMFI「EDPYM ライズ」へ約50万米ドル相当の融資を実施。27日には、カンボジアのMFI「タネアケア・プン・カンボジア」へ約200万米ドル相当の融資を実施し、組み入れMFIは3機関に。	インド: 一部地域の住民の多重債務問題が深刻化するのを受け、インド中央銀行(RBI)がマイクロファイナンス機関に対する国内規制を施行。 モンゴル: 12日にインフラ、産業育成、エネルギー、道路などに政策的に融資を行うモンゴル開発銀行が設立。
6月	28日、コスタリカのMFI「コシーケ」に約700万米ドル相当の融資を実施。組み入れMFIは4機関に。	ペルー: ラテンアメリカ地域で高い経済成長を持つペルーで、貧困層から支持の高いウサマ氏が新大統領に当選。
7月	1日、アゼルバイジャンのMFI「FINCAアゼルバイジャン」に約330万米ドル相当の融資を実施。15日にはメキシコのMFI「CAME(カメ)」へ約60万米ドル相当、27日にはペルーのMFI「クレア」へ約700万米ドル相当の融資を実施。組み入れMFIは7機関に。	

※上記は、大和マイクロファイナンス・ファンドの投資対象である「DWMマイクロファイナンスファンドJ-クラスJ」の投資先MFIをご紹介します。将来の組み入れを示唆・保証するものではありません。

6ページ目の一般的な留意事項を必ずご覧ください。

3.インパクト・インベストメントに対する投資家の貢献

融資先MFIの借り手総数(2011年7月28日時点)



出所: DWMアセット・マネジメント社

当ファンドは設定から5カ月でDWMマイクロファイナンスファンドJ-クラスJを通じて、7MFIへ融資を実行しました。

7MFIの借り手総数は、60万人強であり、皆様の投資資金は、マイクロファイナンスを必要としている多くの人たちに融資されています。当ファンドの設定時の目的である、「貧しい人たちの自立支援」を着実に実行しています。

そして、これからも新たなMFIへの融資が実行されることで、当ファンドの投資資金がより多くのマイクロファイナンスを必要とする人々の手助けとなることが期待されます。

スペシャルインタビュー ～モンゴルのMFI「ハスバンク」～



ハスバンク(XacBank)



ハスバンク本社

ハスバンクは、2001年に誕生したモンゴル第4位の商業銀行で、マイクロファイナンス事業を積極的に展開している金融機関です。現在、全国の都市部、農村部を83の本支店網でカバーしています。

同行は農村や社会的に弱い立場の人々に金融サービスを提供し、モンゴルのすべての国民に金融サービスを行き渡らせることで、同国の社会・経済の発展に貢献することを目的としています。

ハスバンク CEO バッターオチール・デュゲルスレン氏



モンゴル国立大学経済学部卒業後、モンゴル証券取引所に入社。UNDP(国連開発計画)が世界25カ国でマイクロファイナンス事業を育成するプログラムのスタッフに採用。モンゴルもこのUNDPのプロジェクトの一国として選ばれたため、デュゲルスレン氏はウランバートルで、マイクロファイナンス事業を行うNGO(非政府組織)育成に取り組みました。

1989年ハスバンクの前身となるNGOで経理を担当。その後、ハスバンクの資金調達や、財務、内部管理など様々な業務を経験し、2006年米国大学院(国際金融修士)への留学を経て、2009年に副CEO、2011年1月にCEOに就任。39歳

Q.日本の投資信託からの融資をどのようにお考えですか？

モンゴルは、ソ連崩壊後に計画経済から市場経済へ移行して、まだ10年余りしか経っていないため、資本の蓄積が十分ではありません。したがって、大和マイクロファイナンス・ファンドなどの国際的な投資家からの資金は、モンゴル経済にとって非常に重要だと思います。

今回の融資が大和マイクロファイナンス・ファンドを通じてと知り、日本の投資家が高い社会的な責任感を持っていることを知ることができました。さらに、今年3月に大震災と津波を受けた日本の投資家からの融資であることにハスバンクとして強い責任を感じています。私たちの顧客である個人事業主や零細企業の借り手の商売や生活が向上するよう、日本からの融資をしっかりと活用していきたいと思っています。

※上記は、大和マイクロファイナンス・ファンドの投資対象である「DWMマイクロファイナンスファンドJ-クラスJ」の投資先MFIをご紹介したものです。将来の組み入れを示唆・保証するものではありません。

6ページ目の一般的な留意事項を必ずご覧ください。

2011年8月

**Q.今回現地通貨建てでの融資でしたが、
どのようにお考えですか？**

現在、当社に融資している海外投資家からの融資資金は米ドル建てがほとんどです。この点でも、現地通貨建ての融資を行う大和マイクロファイナンス・ファンドはハスバンクにとって貴重な投資家です。大和マイクロファイナンス・ファンドの投資家は日本円とモンゴル・トゥグルクの為替リスクを負う事になりますが、豊富な鉱物資源を持つモンゴルの通貨トゥグルクは中長期的には強い通貨になると思います。



Q.ハスバンクの今後についてどのようにお考えですか？

UNDPの一プロジェクトで始まったハスバンクは計画通り順調に成長しており、今後もそのペースは持続可能であると思います。現在、地元のNGOと連携した顧客(借り手)への金融教育や、顧客の子供達が大学進学を目指すように教育費の積立預金サービスも始めました。さらに、環境関連の商品やサービス向けの融資も始めています。このように、現在では複数の金融商品を扱うまでにハスバンクは成長してきました。今後もモンゴル経済の発展を享受し、堅実な経営を志し、持続的な成長を遂げていきたいと思っています。

ハスバンク マイクロファイナンス部門ディレクター エンハルガル・トグトフ氏



～日本の投資家へのメッセージ～

ハスバンクは現在、預金や保険なども扱う大手金融機関の一つにまで成長しましたが、マイクロファイナンスは現在でも中核事業です。とくに地方では鉱山開発が盛んになってきており、地方に強いハスバンクにとって新たな成長の機会だと考えています。大和マイクロファイナンス・ファンドからの現地通貨建て融資は、地方で事業を営む個人事業主や零細企業向けに小口融資をする上で非常に助かります。有難うございます。

ハスバンク ソンギンオハイハム支店 支店長 B.オウインエルデネ氏

～日本の投資家へのメッセージ～

ハスバンクの融資資金の約6割は、主に外国の投資家からの資金によって調達されており、大和マイクロファイナンス・ファンドなど外国からの民間資金が非常に重要です。大和マイクロファイナンス・ファンドに投資する日本の投資家は社会的なインパクトについても高い関心を持っていると思います。ハスバンクは個人事業主や零細企業に小口融資をすることで、彼らの事業を支援し、彼らの家族の生活の改善や新たな雇用を生み出す機会の提供に貢献しています。これからも中長期にわたる協力をお願いします。



ハスバンク ソンギンオハイハム支店 融資担当者ホロル・アマラー氏

～日本の投資家へのメッセージ～

小口融資の顧客に小口預金や小口保険、教育ローンなどを提供しています。また、モバイルバンキングを活用したサービスも徐々に始めています。とくに遠方で仕事をしている顧客にはモバイルバンキングで融資の返済ができ、利便性は高いと思います。大和マイクロファイナンス・ファンドの資金によって、より多くの顧客に融資が可能になり、さらに充実した顧客サービスができるようになるのではないかと期待しています。有難うございます。



ソンギンオハイハム支店窓口

※上記は、大和マイクロファイナンス・ファンドの投資対象である「DWMマイクロファイナンスファンドJ-クラスJ」の投資先MFIをご紹介したものです。将来の組み入れを示唆・保証するものではありません。

6ページ目の一般的な留意事項を必ずご覧ください。

2011年8月



ハスバンク 借り手の声

オチル・ガントウルガさん

食料雑貨品店経営



～日本の皆様へのメッセージ～

日本のみなさん、サンキュー・ベリーマッチ……。モンゴルでは個人事業主がお金を借りの方法がほとんどないのが現状です。でもそうした中、ハスバンクは唯一融資を提供してくれました。そのハスバンクに日本の投資家が大和マイクロファイナンス・ファンドを通じて融資をしているということは素晴らしいことです。どうも有難うございます。

現在45歳のガントウルガさんは、1997年、ウランバートルに移ってきました。当初は木炭用に材木を裁断する仕事をしていたのですが、妻と二人の子供を養うために、自ら食料雑貨品の店を開くことを決意しました。ガントウルガさんは、まずハスバンクが行なっている金融教育のプログラムに参加しました。そして、2007年初夏、食料雑貨店に必要な品物の調達に目処がたったところで、ハスバンクに開店に必要なアイスケースや家具類を購入する資金の融資を申し込みました。最初の融資は100万トゥグルク(約6万3700円:1トゥグルク=0.0637円)でした。食料雑貨店の経営は順調に進み、現在は4回目の融資403万トゥグルク(約25万6800円)を受けて、現在2店舗を経営しています。また、ガントウルガさんはハスバンクが現在進めているモバイルバンキングを通じた小口融資サービスを活用しています。

ガントウルガさんは、将来ソーシャルワーカーになる夢を持っている高校2年生の娘さんを大学へ進学させてあげたいと考えています。



ガントウルガさんの食料雑貨品店内

バイガルマ・バダムダグラさん

乳製品販売店経営



～日本の皆様へのメッセージ～

私たちが商売を始めたころ、どこの銀行もお金を貸してくれませんでした。ハスバンクに出会わなかったら商売は始められなかったでしょう。日本の投資家の資金が大和マイクロファイナンス・ファンドを通じてハスバンクに融資され、私たちの運転資金の原資になっていることは、私たちのような個人事業主にとって大変助かります。

バダムダグラさんは、ウランバートル中心部からやや離れたハフホリン市場でバターやチーズなどの乳製品を販売する店を夫婦で経営しています。バダムダグラさんの親戚がモンゴルの農村部で牧場を経営しており、その乳牛からつくられる乳製品を仕入れて、ハフホリン市場の店でレストランなどへ卸売販売しています。

バダムダグラさんはハスバンクのソギンオハイハム支店の最初の顧客の一人で、2004年4月に最初の融資100万トゥグルク(約6万3700円)を受けました。その後10回以上の借換えを経て、現在1500万トゥグルク(約96万円)の融資を受けています。バダムダグラさんは、現在は卸売を中心に乳製品を販売していますが、今後は、個人顧客の多い、近隣のスーパーマーケットへ商品を卸すことができるように、商品を小分けにして販売したいと考えています



バダムダグラさんの店内ショーケース

※上記は、大和マイクロファイナンス・ファンドの投資対象である「DWMマイクロファイナンスファンドJ-クラスJ」の投資先MFIをご紹介したものです。将来の組み入れを示唆・保証するものではありません。

6ページ目の一般的な留意事項を必ずご覧ください。

お申し込みの際は必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご確認ください。

ファンドの特色

- 世界の貧困問題に取り組むマイクロファイナンス機関 (Microfinance Institutions: MFI) の活動を、直接的な融資も含め資金面で支援するファンドです。
 - 実質的な運用は、マイクロファイナンスに特化した運用会社である DWMアセット・マネジメント社が行います。
 - 実質的な運用に当たっては、投資対象国(通貨)を幅広く分散することを基本とします。
 - 年2回決算を行います。
- 当ファンドはファンド・オブ・ファンズ方式で運用を行います。

お申込メモ

信託期間	原則として、2011年3月1日から2021年2月23日まで
購入単位	1,000円以上1円単位*または1,000口以上1口単位 * 購入時手数料および購入時手数料に対する消費税等に相当する金額を含めて、1,000円以上1円単位で購入いただけます。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
決算日	2月および8月の各23日 (年2回。ただし、当日が休業日の場合には翌営業日とします)

投資リスク

当ファンドは、値動きのある有価証券などを投資対象としますので、基準価額は変動します。したがって、当ファンドは元本が保証されているものではありません。委託会社の運用指図によって信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。当ファンドへの投資には主な変動要因として、「マイクロファイナンス投資にかかるリスク」「金利変動リスク」「信用リスク」「為替変動リスク」「カントリーリスク」「流動性リスク」などが想定され、これらの影響により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

ファンドの費用

お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料	購入金額に下記の購入時手数料率を乗じて得た額とします。								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>購入金額</th> <th>手数料率(税込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5,000万円未満</td> <td>3.150%</td> </tr> <tr> <td>5,000万円以上5億円未満</td> <td>1.575%</td> </tr> <tr> <td>5億円以上</td> <td>0.525%</td> </tr> </tbody> </table>	購入金額	手数料率(税込)	5,000万円未満	3.150%	5,000万円以上5億円未満	1.575%	5億円以上	0.525%
	購入金額	手数料率(税込)							
	5,000万円未満	3.150%							
5,000万円以上5億円未満	1.575%								
5億円以上	0.525%								
購入金額: (申込受付日の翌営業日の基準価額/1万口) × 申込口数									
換金(解約)手数料	ありません。								
信託財産留保額	ありません。								

お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用(信託報酬)	当ファンドが投資対象とする投資信託証券の信託報酬を加えた実質的な信託報酬の上限は年1.9765%(税込)程度となります。 ※当ファンドならびに当ファンドが投資対象とする投資信託証券にかかる信託報酬は以下の通りです。 ・当ファンド: 信託財産の純資産総額に対し、年1.0815%(税抜1.03%) ・DWMマイクロファイナンスファンド「J-クラス」: 純資産総額に対し、年0.895%(注) (注)ただし、信託報酬のうち管理会社に支払う報酬(年0.07%)が125,000米ドルに満たない場合は、125,000米ドルとなりますので、投資信託証券の純資産総額によっては上記報酬率を超える場合があります。 ・東京海上マネーマザーファンド: 信託報酬はかかりません。
その他の費用・手数料	信託財産の財務諸表の監査に要する費用(純資産総額に対し、税込年0.0105%(上限年63万円))、信託事務などに要する諸費用、立替金の利息、組入有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料、外国における資産の保管などに要する費用、借入金の利息および組入投資信託証券においてかかる費用などが保有期間中、その都度かかります。 ※監査費用を除くこれらの費用は実際の取引などにより変動するため、事前に料率、上限額等を表示することができません。

※上記手数料等の合計額については、保有期間などに応じて異なりますので、あらかじめ表示することができません。

詳細は投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

■目論見書のご請求・お申込みは…

■設定・運用は…

大和証券

Daiwa Securities

商号等: 大和証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第108号
加入協会: 日本証券業協会、(社)日本証券投資顧問業協会、
(社)金融先物取引業協会、一般社団法人 第二種金融商品取引業協会

東京海上アセットマネジメント投信

商号等: 東京海上アセットマネジメント投信株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第361号
加入協会: (社)投資信託協会、(社)日本証券投資顧問業協会

【一般的な留意事項】

- 当資料は、東京海上アセットマネジメント投信株式会社が作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。お申し込みに当たっては必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧の上、ご自身でご判断ください。
- 当資料の内容は作成日時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料に掲載された図表などの内容は、将来の運用成果や市場環境の変動などを示唆・保証するものではありません。
- 投資信託は、値動きのある証券など(外貨建資産に投資する場合には、為替変動リスクもあります)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではありません。
- 投資信託は金融機関の預金とは異なり元本が保証されているものではありません。委託会社の運用指図によって信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資家に帰属します。
- 投資信託は、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。
- 投資信託は、預金および保険契約ではありません。また、預金保険や保険契約者保護機構の対象ではありません。
- 登録金融機関から購入した投資信託は投資者保護基金の補償対象ではありません。